

幼保連携型認定こども園
は と り 保 育 園

本園の目指す保育・教育

- 明るく元気な子ども (健康でがんばれる子ども)
 美しい心の子ども (礼儀正しい子・約束を守れる子)
 仲良くおおらかな子ども (思いやりがありよく考え工夫する子)

本年度重点的に取り組む目標

保育園時代の経験におぼれず，認定こども園3年目として，保育・教育の充実に職員が一つのチームであることを意識して取り組む。

評価項目別の達成および課題状況

綱 目	評 価 課 題
本園の保育・教育目標の認識度	認識度は職員（98%）・保護者（97%）であり，職員会議や保護者会等でさらに啓発していく。
乳児・幼児・延長保育教諭間の連携	殆どの職員は不足していると各自認識している。報告・連絡・相談・確認の再確認と徹底に努力する。
各職種間の連携	他業種の職員との連携は円滑であるが、運営面での改善が必要である。
保育・教育内容	「一人ひとりの育ち」を重点に子どもに接してきて，保護者の評価が97%であった。さらに充実した研修を積み，実践する。
研修	園内研修は、定期的実施されたが，全員に園外研修がいきわたらなかつた。免許更新予定者（2名）は終了した。
安全への取組	月1回の避難訓練を行っている。2階の避難経路の変更や施設設備の補強を行った。

特別支援教育（共生教育）	担任・支援者を付け対応はしているが、さらに知識や技能の研修を積ませ、課題をつかみ保護者の理解と協力を得て、実践を図る。
保護者との連携	園主体の行事や小美玉市等のイベントに協力して頂く形をとっている。工夫・改善の推進を図る。
地域子育て支援	子育て支援センター「るんるん」を拠点として、講師派遣等を積極的に行った。
幼小連携	就学前に定時期と必要に応じ小学校より教諭が見学、意見交換をしている。
取り組むべき具体的な課題	報告・連絡・相談・確認の徹底により、園や子どもの動きを全職員が把握しやすいようにする。
総評	認定子ども園3年目となり、職員はそれぞれの職務に真摯に取り組んだ。

〈外部（保護者）による評価〉

本園の目指す保育・教育については、97%以上の評価を頂いているし、保護者との関係も良好である。園の運営について研修を重ねながら、認定子ども園としての課題を認識し、解決に努力する。

〈財務状況〉

監査を受け妥当であると認められた。